

令和4年度 事業報告

概要

本財団は、昭和44年（1969）の設立以来、事業目的である京都市域の文化観光資源の保護を図り、保護思想の普及に努め、京都市の文化観光の発展と文化的向上に取り組んできた。

令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、四大大行事をはじめとする多くの伝統行事・芸能が中止あるいは大幅な規模縮小に追い込まれたが、令和4年度については未だ新型コロナウイルス感染症が治まったわけではないが、感染対策を万全に整えることで多くの行事が動き出した。

令和4年12月には、全国で41件の「風流踊」がユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録され、京都からは本財団が助成を続けてきた「京都の六斎念仏」「やすらい花」「久多の花笠踊」が登録され、コロナ渦で発表の機会が制限されてきた伝統行事・芸能の保存と継承に係わる人達にとって大きな励みとなった。

文化観光資源保護事業の助成事業では、令和4年度も募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行った。建造物、美術工芸品などの未指定文化財の修理事業はほぼ例年通りの申請を受理し修理事業が実施されたが、伝統行事・芸能の執行や公開事業については、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の京都四大大行事では、5月の葵祭が行列中止になり、その他ではやすらい花や下鴨神社の烏相撲、日野裸踊など主に子供が参加する行事が中止になっている。

夏の祇園祭では好天にも恵まれ、多くの見学者の見守る中で7月17日に前祭23基、24日に後祭11基の巡行が行われ、特に今年は後祭の鷹山が196年ぶりに復興され大きな話題となった。また、8月には六斎念仏がそれぞれの地域で予定通り行われ、京都五山送り火では、この2年間、各山1点から数点の点火であったが、令和4年度はようやく全火床に点火することができた。

やはり夏場の行事である洛北の花脊、広河原等の火祭関係では「広河原の松上げ」及び京北の「小塩の上げ松」の各保存会が中止の決断をされた。

各保存会等ではぎりぎりまで行事の執行を模索し準備を整えていたため、相応の出費を行っていることもあり、事業報告書の提出を受けて助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。

文化観光資源保護普及啓発事業では、令和3年度から新たな取り組みとして、若い世代や子供たちに文化財への関心を高め、また地域に伝わる歴史や文化に親しむことで文化財愛護思想を醸成することを目的として、文化庁予算を活用し、伝統文化親子

教室や区役所と連携し地域に密着した子供向けの事業を行っている。令和4年度も継続して取り組んだ。

また、広報活動としてポスター、リーフレットの作成及び財団ウェブサイト、SNSでの情報発信などに力を入れるとともに、財団のプロモーションビデオを新たに作成した。その他文化財講座や伝統芸能の公演など、ほぼ計画どおり事業を実施することができた。

会員事業では、京の三大祭観覧招待をはじめとして、文化財講演会や非公開文化財の特別公開への招待など会員へのサービス向上に努めた。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、上記の各事業を行っていく中で会員をはじめ幅広い層に支援、協力の呼びかけを行った。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

(1) 対象事業

令和4年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当する事業

本年度も年度当初は新型コロナウイルス感染症対策により中止となった行事もあるが、大方は例年通りの催しを行うことができた。したがって助成額もコロナ感染症対策を施す以前の額に近くなった。

1) 文化財所有者、管理者等が行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

(2) 申請の応募, 受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談(3月1日～31日)及び申請書の受付(4月30日提出期限)を行った。

(3) 専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 令和4年12月7日

○出席者 尼崎博正委員、伊東史郎、小椋純一委員、奥平俊六委員
高橋康夫委員、伊達仁美委員 以上6名

○決議事項

第1号議案 令和4年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

- 1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業
- 2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業
- 3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された48件について、12月27日付けで助成額を決定(理事長決定)し、各申請者に対し助成金確定通知を送付した。内訳は、以下のとおり。

また、申請者には保護事業報告書の提出(3月末期限)を求めた。

助成申請件数 48件(内6件中止) 助成額合計 5,296万円

(内 訳)

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業 5件 助成額 338万円
単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
玉林院	讃州寺本堂修理事業	677	70	70	
知恩院	土塀修理事業	245	70	70	
大聖寺	障壁画修理事業	1,392	70	70	
雲竜院	木造不動明王半跏像修理事業	453	70	70	
行往院	木造阿弥陀如来坐像修理事業	176	58	58	

2) 伝統行事、伝統芸能保存及び執行事業 42件 助成額 4,704万円

○伝統行事・芸能保存事業2件 助成額 519万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
(公財)祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾修理事業	418	139	139	
京都五山送り火連合会	各山火床整備事業	1,497	380	380	

○伝統行事・芸能執行事業 40件 助成額 4,185万円

・伝統行事執行事業 18件 助成額 3,904万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	714	184	184	中止(衣裝修理)
祇園祭協賛会	祇園祭山鉦巡行 //	8,775	2,050	2,050	
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火 //	2,390	650	650	
時代祭協賛会	時代祭行列 //	2,170	623	623	
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事 //	210	20	20	
賀茂競馬保存会	賀茂競馬 //	939	25	25	
藤森神社駈馬保存会	藤森駈馬 //	360	25	25	
糺の森流鏝馬神事保存会	糺の森流鏝馬 //	700	25	25	
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬竹伐り会 //	175	13	13	
花脊松上げ保存会	花脊松上げ //	120	25	25	
広河原松上げ保存会	広河原松上げ //	200	25	13	中止(後継者養成)
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ //	70	20	20	
小塩松上げ保存会	小塩上げ松 //	13	5	0	中止
烏相撲保存会重陽社	烏相撲 //	79	10	0	中止
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭 //	330	25	25	
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供 //	18	6	6	
日野裸踊保存会	日野裸踊 //	22	6	0	中止
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭 //	919	200	200	

・伝統芸能公開事業 22件 助成額 281万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	330	20	20	
壬生大念仏講	壬生狂言 //	246	15	15	
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言 //	468	15	8	中止(衣装・舞台修理)
千本えんま堂	千本えんま堂狂言 //	59	15	15	
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言 //	70	15	15	
久世六斎保存会	久世六斎 //	53	15	15	
中堂寺六斎会	中堂寺六斎 //	45	15	15	
梅津六斎保存会	梅津六斎 //	65	15	15	

小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎 〃	77	15	15	
千本六斎会	千本六斎 〃	47	15	15	
壬生六斎念仏講中	壬生六斎 〃	55	15	15	
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎 〃	38	10	10	
西院六斎念仏保存会	西院六斎 〃	5	2	0	
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎 〃	50	10	10	
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎 〃	35	10	10	
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花 〃	43	13	13	
今宮やすらい会	今宮やすらい花 〃	130	13	13	
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花 〃	87	13	13	
久多花笠踊保存会	久多花笠踊 〃	29	25	9	
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊 〃	189	20	20	
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊 〃	31	10	10	
番匠保存会	番匠儀式 〃	35	10	10	

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全事業 1件 助成額 254万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会(上京区)	文化財周辺松喰虫等駆除事業	763	254	254	

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
合計	48件	26,012	5,354	5,296	

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。
- (2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観

光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめた。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の内、時代祭以外の3行事については、各協賛会等の会議は書面により実施された。

ア 文化財防災対策連絡会（令和4年度事務局 京都府文化財保護課）

開催日：第1回 6月14日 第2回 11月15日 第3回 3月16日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、同危機管理部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等に関する情報交換を行った。

イ 四大大行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

例年、円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり協議を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により葵祭、京都五山送り火、祇園祭は書面会議となった。葵祭以外の3行事はほぼ例年通り実施された。

Ⅱ. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 文化観光資源公開事業の実施、刊行物の発行

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の普及啓発事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

（1）文化財講座「京都の春を彩る伝統行事・伝統芸能」

日 時 令和4年4月17日（日）

会 場 京都府立京都学・歴彩館

内 容 第一部 講演 「賀茂競馬の楽しみ方」

講 師 堀川 潤氏

一般財団法人賀茂県主同族会理事長

賀茂競馬保存会副会長

第二部 京都の歴史と文化映像ライブラリー

記録映像「やすらい花」の上映

解 説 福持 昌之氏 京都市文化財保護課技師

参加者数 132名

(2) 文化財講座「養源院の俵屋宗達」

日 時 令和4年11月4日(金)

会 場 京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)

内 容 講 演 「養源院の俵屋宗達」

講 師 大阪大学名誉教授、当財団専門委員会委員 奥平 俊六

参加者数 240名

(3) 嵯峨大念仏狂言特別公演普及啓発特別イベント

日 時 令和4年11月12日(土)

会 場 嵐山昇龍苑(京都市右京区嵯峨)

内 容 嵯峨大念仏狂言の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設でブースを設け、文化財保護の呼びかけと募金活動を行った。

参加者数 270名

(4) 京都の伝統行事「木遣音頭と鉦始の儀」講演と実演

日 時 令和5年2月11日(土)

会 場 京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)

内 容 第一部 講 演 「木の建築が語ること」

講 師 京都工芸繊維大学助教 松田 剛佐

第二部 記録映像 京都市登録無形民俗文化財「木遣音頭」の上映

第三部 実 演 「木遣音頭と鉦始の儀」 番匠保存会

参加者数 102名

(5) 京都マラソン2023おこしやす広場ブース出展

日 時 令和5年2月17日(金)・18日(日)

会 場 京都市勧業館 みやこめっせ

内 容 京都マラソン2023 おこしやす広場においてブース出展し、文化財保護の呼びかけと募金活動を行う。

2. 広報活動の積極的推進

(1) ウェブサイトによる発信事業

令和3年度に全面改訂したWebサイトを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。

(2) SNSを活用した情報発信

Facebook、Instagram及びTwitterによるSNSでの情報発信を行った。季節の伝統行事・伝統芸能の紹介や、「京都の歴史と文化 映像ライブラリー」の内容紹

介、過去の会報記事の紹介、文化財に関するイベントの紹介など、多くの方が文化財に関心を持ち、興味を持っていただけるようなタイムリーな情報を発信し、適宜更新した。

(3) 財団広報活動の強化

本財団の認知度の向上を目指して、ポスターを作成し、京都市内の各社寺、博物館、美術館、京都市営地下鉄構内などに掲示した。また京都総合観光案内所「京なび」にリーフレット配架、京都新聞事業社主催京都検定講習会での資料配布などを行った。

また、財団の活動内容のPRに役立てるため、財団プロモーションビデオを新たに作成した。

財団事業実施の際は、各報道機関に対し広報発表を行うとともに、時宜に応じた取組に関わる取材を依頼するなど積極的な広報活動に努めた。

3. 伝統行事・芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の10名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰した。表彰式は令和5年1月30日ウェスティン都ホテルにて、令和4年度第5回通常理事会終了後に行った。

〈令和4年度被表彰者（順不同・敬称略）〉

市 聡顕（賀茂競馬保存会）	堂目 卓生（今宮やすらい会）
村田 正仁（藤森神社駟馬保存会）	北谷 善弘（久多宮の町松上げ保存会）
細川 壽美枝（北白川伝統文化保存会）	渡邊 博（一乗寺郷土芸能保存会）
三宅 徳彦（鞍馬火祭保存会）	大西 達也（一乗寺八大神社剣鋒保存会）
眞岡 淳之（蹴鞠保存会）	東 恒男（大原上野町おこない・お弓保存会）

4. 文化観光資源に関する事業の関係機関との連携、後援事業

財団活動を広く周知するために、京都市や他団体と連携した普及啓発に関する事業を展開した。昨年度から京都商工会議所と連携し、京都・観光文化検定試験の受験者に対する働きかけを行っている。

また、(1)～(4)のとおり文化観光資源の所有者、管理者及び保存団体等からの依頼を受け文化観光資源保護を目的とした各種事業を後援し支援した。

(1) 令和4年度ふるさと文化財の森 「森が支える日本の技術2022公開セミナー」の後援

11月5日～6日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会

文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示及び体験等が行われた。

(2) 第57回「京の冬の旅」の後援

1月1日～3月27日 主催：公益社団法人京都市観光協会

京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(3) 賀茂競馬奉納930年記念展示会ポスター作製事業の後援

12月～ 主催：賀茂競馬保存会

京都市登録無形民俗文化財である「賀茂競馬」について、令和5年度に全国の賀茂競馬美術品を展示するにあたり、「賀茂競馬」を周知するためのポスターが作製された。

(4) 年中行事「鉦始め・木遣音頭」の後援

1月2日 主催：番匠保存会

建築儀式「鉦始め」を行い「木遣音頭」を披露する儀式が行われた。

5. 文化庁委託事業の実施

(1) 伝統文化親子教室「京のまつりを体験してみよう・京の文化財体験教室」

文化庁の委託事業「伝統文化親子教室事業」を受託し、次世代を担う子供たちに京都の伝統文化を体験・習得できる機会を設けた。

○第1回目 7月23日(土) オリエンテーション 於) キャンパスプラザ京都
親子17組 参加

○第2回目 7月30日(土) 「六斎念仏」をやってみよう
於) 京都市立光徳小学校 協力) 京都中堂寺六斎会
親子21組参加

○第3回目 8月20日(土) 「大念仏狂言」をやってみよう
於) 嵯峨清涼寺 協力) 嵯峨大念仏狂言保存会
親子22組参加

○第4回目 9月10日(土) 「剣鉾差し」をやってみよう
於) 京都市立第三錦林小学校 協力) 吉田剣鉾保存会
親子20組参加

(2) 子ども歴史文化探検・体験事業(区役所連携事業)

文化庁の委託事業「子供たちのための伝統文化の体験事業」を受託し、子どもたちが住む地元の文化財に直接触れる体験や地元の民俗芸能・伝統文化を体験してもらうことで、文化財等に対する愛護思想の普及啓発を行った。

○中京区「子ども歴史・文化体験」 8月27日(日) 於) 大江能楽堂
協力) 観世流能楽師大江信行氏、京都市埋蔵文化財研究所

親子17組参加

○西京区「子ども歴史・文化体験」 11月19日（土）、20日（日）

於）山口家住宅（西京区山田） 協力）山口俊弘氏

親子19組参加

○下京区「子ども歴史・文化体験」 11月23日（水・祝）

於）森本鋳金具製作所（下京区八百屋町） 協力）京都市埋蔵文化財研究所

親子24組参加

Ⅲ. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第134、135、136号の3号を各1,300部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

No.（発行月）	主な目次
No.134（4.8.1付）	講演録「京都の文化財保護の歴史と現状・課題 後編」独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館名誉館長 佐々木承平、保護財団の活動
No.135（4.12.1付）	特集「養源院の宗達－修理によってわかったこと－」大阪大学名誉教授・当財団専門委員会委員 奥平俊六 保護財団の活動
No.136（5.3.1付）	講演録「京都の六斎念仏－念仏六斎と芸能六斎－」元京都市歴史資料館長 山路興造、保護財団の活動

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を計画し、文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った。

(1) 京の三大祭観覧招待

葵祭 新型コロナウイルス感染症対策により中止

祇園祭前祭（7月17日） 京都市役所前 観覧者数 211名

時代祭（10月22日） 京都御苑建礼門前 観覧者数 260名

* 祇園祭、時代祭の観覧席は新型コロナウイルス感染症対策により例年より約2割縮小した。

(2) 祇園祭・京都五山送り火記念「扇子」を希望者に進呈

* 寄附者への御礼の品としてバックナンバーを送付。

- (3) 賀茂別雷神社「賀茂競馬足汰式鑑賞会」招待
 実施期間 5月1日(日) 観覧者数 35名
- (4) 「無鄰菴」招待事業
 実施期間 10月1日(土)～31日(月) 参加者数 58名
- (5) 京都市古文化保存協会主催
 「令和4年度秋期京都非公開文化財特別公開」招待
 実施期間 10月8日(土)～12月4日(日) 申込者数 134名
- (6) 京都市観光協会主催「第57回京の冬の旅 非公開文化財特別公開」招待
 実施期間 1月7日(土)～2月28日(火) 申込者数 152名
- (7) 「浄土宗総本山 知恩院」文化財特別観賞
 実施期間 3月11日(土) 参加者数 65名

3. 寄附の取組み及び会員登録状況

(1) 寄附者の顕彰

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、法人2団体及び個人1名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈した。贈呈式は令和5年1月30日ウエスティン都ホテルにて、令和4年度第5回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者(敬称略)

(法人の部) 伸和建设株式会社(京都市右京区)

株式会社二期(東京都)

(個人の部) 伊勢 初枝

(2) 会員登録状況(令和5年3月31日現在)

会員区分	法人	個人	計
特別会員	163	180	343
普通会員	16	189	205
賛助会員	8	66	74
計	187	435	622

注) 会員規程による会員区分に基づいている。

会員数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4
会員数	713	673	640	593	622
新規会員数 (内数)	42	37	16	45	96

IV. 法人運営

1. 募金活動

(1) 募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況 8,472,000円 (R3年度 4,530,500円)

京都市文化観光資源保護基金令和4年度末残高

2,159,405,131円

(2) 新たな寄附獲得の取組み

- ・令和3年度から金融機関と「遺贈・寄附等への協力に関する協定」を締結（三井住友信託銀行、京都銀行）しており、令和4年度は新たに三菱UFJ信託銀行とも締結した。
- ・財団のファン・新規会員の拡充につとめるため、活動案内パンフレット「ご寄附のお願い」を作成し、事業実施時等に配布する他、京都総合観光案内所「京なび」での配架や、京都新聞事業社主催の京都検定講習会会場での配布などを行った。さらに京都マラソンおこしやす広場や民俗芸能公演でブースを設置して幅広い層に対し財団のPRを行った。
- ・会員向けに従来の寄附のお願いに加え、12月を「寄附月間」とし、1万円以上ご寄附をいただいた方には「ダイアリー京都手帖2023」をプレゼントするキャンペーンを行った。

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回みなし理事会（5月10日開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案

- (1) 理事選任の件について
- (2) 評議員選任の件について
- (3) 顧問の選任の件について

出席等 提案書に対し、理事10名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第2回通常理事会（6月3日開催）

- 議案 (1) 令和3年度事業報告の承認について
(2) 令和3年度計算書類の承認について
(3) 令和4年度常勤理事の役員報酬の承認について
(4) 資産運用規定の一部改正について
(5) 評議員会の招集について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事12名、監事2名

第3回みなし理事会（7月8日付開催）

議案 副理事長の選任の件について

出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第4回みなし理事会（9月9日付開催）

議案 定款第24条に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第5回通常理事会（1月30日付開催）

- 議案 (1) 令和5年度事業計画及び収支予算（案）、並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について
(2) 任期満了に伴う顧問の選任について
(3) 特定費用準備資金にについて

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事11名、監事1名

第6回みなし理事会（3月1日付開催）

議案 定款第24条に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 評議員会

第1回みなし評議員会（5月20日開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案

(1) 理事選任の件について

(2) 評議員専任の件について

出席等 提案書に対し、評議員22名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第2回定時評議員会（6月28日開催）

議題 (1) 令和3年度事業報告の承認について

(2) 令和3年度計算書類の承認について

(3) 令和4年度常勤理事の役員報酬の承認について

(4) 理事の選任について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 評議員15名、監事2名

第3回みなし評議員会（9月22日付開催）

議案 定款第17条2及び24条に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、評議員24名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第4回みなし評議員会（3月8日付開催）

議案 定款第17条2及び24条に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、評議員24名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会 5月19日

議案 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの業務及び会計一件

出席 監事3名及び専務理事、事務局職員2名

監査意見 (1) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(2) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していることを認める。

(3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないことを認める。

3. 役員の変動

(1) 第1回みなし理事会による承認（5月20日付）

就任 顧問 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭

退任 顧問 尾崎 裕 大阪商工会議所会頭

(2) 第1回みなし評議員会による承認（5月20日付）

就任 理事 山中 博昭 京都市文化芸術政策監

理事 川嶋 優子 京都市会文化環境委員会委員長

理事 金谷 宗子 公益財団法人京都文化財団事務局長

理事 柳瀬 忠弘 株式会社三菱UFJ銀行京都支店長

退任 理事 志渡澤 祥宏 京都市文化市民局文化財保存・活用担当局長

理事 国本 友利 京都市会文化環境委員会委員長

理事 神山 俊昭 公益財団法人京都文化財団常務理事

理事 小林 薫 株式会社三菱UFJ銀行京都支店長

就任 評議員 奥井 拓史 公益社団法人京都市観光協会事務総長

評議員 笹尾 耕一郎 三菱UFJ信託銀行株式会社執行役員京都支店長

評議員 柳 義彦 三井住友信託銀行株式会社理事京都支店長

退任 評議員 西村 健 公益社団法人京都市観光協会専務理事

評議員 小林 泰文 三菱UFJ信託銀行株式会社執行役員京都支店長

評議員 咄下 泰男 三井住友信託銀行株式会社執行役員京都支店長

(3) 第2回定時評議員会による承認（6月28日付）

就任 理事 大西 祐資 株式会社京都新聞社代表取締役社長

退任 理事 山内 康敬 株式会社京都新聞社相談役

(4) 第3回みなし理事会による承認（7月8日付）

就任 副理事長 大西 祐資

(5) 第3回みなし評議員会による承認（9月22日付）

就任 評議員 安永 雄彦 本願寺執行長

退任 評議員 武田 昭英 本願寺執行長

(6) 第5回通常理事会による承認（1月30日付）

顧問の任期満了に伴う選任

就任 顧問 田中 明秀 京都市会議長

顧問 西脇 隆俊 京都府知事

顧問	十倉 雅和	日本経済団体連合会会長
顧問	塚本 能交	京都商工会議所会頭
顧問	鳥井 信吾	大阪商工会議所会頭
顧問	川崎 博也	神戸商工会議所会頭
顧問	千 玄室	茶道裏千家大宗匠

(7) 第4回みなし評議員会による承認(3月8日付)

就任	評議員	貴田 善澄	知恩院執事長
退任	評議員	井桁 雄弘	知恩院執事長

4. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事 志渡澤 祥宏、国友 友利、神山 俊明、小林 薫
6月 3日(辞任登記)

理事 山中 博昭、川嶋 優子、金子 宗子、柳瀬 忠弘
6月 3日(就任登記)

評議員 西村 健、小林泰文、咄下 泰男
6月 3日(辞任登記)

評議員 奥井 拓史、笹尾 耕一郎、柳 義彦
6月 3日(就任登記)

理事の変更登記

理事 山内 康敬
7月 13日(辞任登記)

理事 大西 祐資
7月 13日(就任登記)

評議員の変更登記

評議員 武田 昭英
11月 14日(辞任登記)

評議員 安永 雄彦
11月 14日(就任登記)

評議員の変更登記

評議員 井桁 雄弘
3月 24日(辞任登記)

評議員 貴田 善澄
3月 24日(就任登記)

5. 行政庁への届出・提出事項

令和3年度事業報告書等に係る提出	6月 28日付	提出
理事・評議員変更の届出	7月 14日付	〃
理事変更の届出	8月 5日付	〃
評議員変更の届出	12月 14日付	〃
年度開始に伴う事業計画書の提出について	3月 16日付	〃
令和5年度事業計画書等に係る提出書	3月 16日付	〃